



9月の園だより

令和5年9月1日
目黒区立中町保育園園長

今年の夏は、連日厳しい暑さとなりました。子どもたちはプールや水遊びを存分に楽しむことができ8月後半には、3・4・5歳児クラスで自分の得意な泳ぎを披露しあいました。お互いに見せ合うことで刺激を受け、積極的に顔をつけたり、自信を持って楽しく泳ぐ子どもたちの姿が見られました。特に5歳児は「世界水泳だー」と盛り上がり、「クロールで泳ぐ」「平泳ぎする」など選手になりきってプールの端から端まで泳ぎきり、水から上がると「もうだめだー」とやりきったという満面の笑みでした。夏の遊びを通して子どもたちは心も体もひとまわりたくましく成長したようです。体を動かして遊ぶ楽しさや、挑戦し頑張る気持ちを大切に秋の活動や運動会につなげていきたいと思います。

この夏は、ヒーローバスに乗って近隣の私立保育園の子どもたちがプールに遊びに来ました。プール活動後に私立保育園の子どもたちと5歳児クラスが交流する中で、最終日に“また一緒に遊びたい”という話になり、後日園庭で遊ぶ約束をしました。また、子育て支援事業で地域の親子がテラスでの水遊びに来園しました。体験後、「たくさんのお友達と一緒に遊ぶことができ楽しく過ごせました」「園児さんに優しくしてもらったり、名前を呼んでもらって嬉しかったです」「手作りのおもちゃも参考になりました」など感想をいただきました。これからも地域とのつながりを大切に保育していきたいと思います。



《 行事予定 》

引き渡し訓練（全園児）
お月見団子作り（5歳児）
身体計測

<10月>

運動会（2・3・4・5歳児）
芋ほり遠足（4・5歳児）

～子どものつづき～

室内のインターホンが鳴ると、子どもたちは持っていたカップを耳に当てて「うんうん」と頷きながら電話をしています。<0歳児>

日頃の何気ない大人の行動をよく見ているのですね。

テラスからヘリコプターを見つけて手を振っている時、「どこに行くんだろうね」と声をかけると「こうえんじゃない」と返ってきました。

<1歳児>

いつも自分が行っている大好きな場所を思い浮かべたようです。

「ひまわり咲いたよ」 ほし組(3歳児)

5月初旬にみんなで種まきをしたミニひまわりが咲きました。ピーマンの苗がぐんぐん育っていく様子を見ながら「まだかな？」と毎日水やりをしていました。花が咲くと「やった！ひまわり咲いてきたよ」と嬉しそうに教えてくれました。図鑑と見比べて「どうしてお花の真ん中は黒いの？」「本の中は黄緑色だね」と細かい所まで友達同士で話しています。



その後フィンガーペインティングの時の黄色い絵の具を見て「ひまわりと一緒にだね」と気づいた子どもがいたので、その紙を使ってひまわりの制作を楽しみました。

「種ってどうやってできるの？」「いつとれるの？」と、ひまわりへの興味、関心が広がっています。これから種の収穫までの変化や気づきに共感しながら観察を楽しんでいきたいと思います。

「種ってどうやってできるの？」「いつとれるの？」と、ひまわりへの興味、関心が広がっています。これから種の収穫までの変化や気づきに共感しながら観察を楽しんでいきたいと思います。





<水遊び・プールの様子>



ちゅうりっぷ組（2歳児）

『 泡の感触 』

氷、色水、絵の具などの素材を使って様々な感触を楽しむことができました。トライいっぱい石けんで泡を作ると、子どもたちはわくわくした表情で手を入れたり、スプーンですくいカップに入れたりしています。「ふわふわだよ」と喜び、泡だらけになった手で握手をしてヌルッと滑る感触も面白がっていました。コップに水を入れその上に泡をのせている子どもに保育士が「おいしそう」と言うと「クリームソーダだよ」と教えてくれました。「ふわふわだね、おいしい」と言うと嬉しそうです。すると泡を集めてケーキを作っていた子どもが「この泡は固いよ」と言いました。「え？」とみんな集まり触って確かめていました。そのケーキのカップには、水が入っておらず泡だけを入れていたので、他とは感触が異なりました。様々な感触に触れる中で、子どもの気づきを見逃さずに保育士も一緒に楽しんでいきたいと思います。



つき組（4歳児）

『 見て、顔がつけられたよ 』

プールが始まった頃は、水に顔をつけることをためらっていた子どもも友達の姿を見て、お風呂や休日に行ったプールで「自分も」と練習していたようです。その努力が実り、「潜れるようになったんだよ、早く先生にも見せたいな！」とプールの日を心待ちにするようになっていきました。水に顔をつけられた時の「できた！」という表情が喜びに溢れていました。

また、ワニ泳ぎでフープをくぐったり、ビート板を使って浮いてみたり、魚やリング拾いなど宝探しをして遊びました。子どもたちはどの遊びも楽しみ、「水が冷たくて気持ちよかったね、プール楽しかったね」と毎回話していました。子どもたちの表情や言葉から楽しさや自信、意欲をたくさん感じられました。この夏の自信や意欲をこれからの活動につなげていきたいと思えます。



おひさま組（5歳児） 『 みんなで作った“おひさま号” 』

友達同士でお互いの泳ぎを見ながら「上手だね」「頑張れ」と声を掛け合う中で、友達から認められたり励まされたりしたことが力になり、どんどん泳ぎが上手になっていきました。「潜って目を開けて泳いだよ」「バタ足で泳ぐ」「クロールやってみる」など、自分の好きな泳ぎ方でプール活動を満喫していました。ビート板を使って泳いでいた時に「なんか船みたいだ」と数人の子どもが話したことをきっかけに、みんなで船作りが始まりました。どんな材料を使えば水に浮かか考え、ペットボトルの船を作ることになりました。試作品1号を完成させましたが、ペットボトルの中に水が入り沈んでしまい、「どうしてだろう」と船を見ると、フタが付いていないから水が入ってきてしまったことが分かり、しっかりフタを締めることにしました。そして完成させた試作品2号でしたが、子どもが乗ってみると半分に折れてしまいました。今度は強度が足りないからだと分かり、折れないようにガムテープでしっかり補強しました。こうしてついに“おひさま号”ができました。今度は上手にいくだろうかドキドキした様子でしたが、水に沈まずに乗船できると「やった！乗れた」と嬉しそうな声が上がりました。2人乗りにも成功し、みんなで乗ったり押したりして楽しみました。友達と力を合わせ一緒に取り組むことで、最高に楽しいプール活動になりました。保育園最後の夏を思いきり満喫した子どもたちでした。

